

# 自己点検・自己評価報告書

平成30年4月1日 — 平成31年3月31日

- \* 令和元年8月30日作成
  - 令和元年6月21日(自己点検・自己評価委員会実施)
  - 令和元年8月30日(学校関係者評価委員会実施)

学校法人高村育英会  
**国際医療管理専門学校** 浜松校

## 点検項目別評価表

### 1. 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 教育理念並びに教育目標・育成人材が明確に示されているか	④ 3 2 1
2. 学校の特色として挙げられるものがあるか	④ 3 2 1
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた3～5年程度先を見据えた中期的な学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者に周知されているか	4 ③ 2 1
5. 学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### 〔現状と課題〕

人間教育・実践教育・国際人教育の3つの理念を通して人材育成をする。  
また、学生、保護者、出身校、社会からの信頼を得ると同時に持続性、確実性、公共性を確保している。  
課題として 教育理念や信頼を広く社会へ、周知、浸透させるのがホームページのみという点が弱い。

#### 〔改善のための方策〕

周知したいターゲットを明確化し、理念や目標をそれに適した広報媒体を探し活用する。  
学生にはホームページ、SNS、保護者には学校説明などに同行してもらおう。社会へは就職を通して浸透を図る。

#### 〔学校関係者評価〕

地域の医療機関からの評価を、その教育理念や詳細と共に、高校生や地域の人たちに告知したり、伝達する手段を考えてほしい。  
必要な人材を養成して、社会へ提供し続けて欲しい。

点検項目別評価表

2. 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
4. 人事、給与に関する規程等は整備されているか	④ 3 2 1
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
7. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

前年度の結果分析・反省を踏まえ、運営方針を明確化した事業計画を作成し、理事会・評議委員会での承認を持って実施されている。  
コンプライアンス体制の整備は、近年の様々な諸問題に対応するため、リスクマネジメントとしても早々に必要だが、  
現状組織化体制化までに至っていない。情報システム化は、データ管理システムなどの導入をして改善しつつも運用、合理化は今後検討材料。

〔改善のための方策〕

コンプライアンス管理体制を整え、リスクマネジメントを全社的に推進するには、「PDCA」(PLAN→DO→CHECK→ACTION)サイクルに基づいて行う。  
また、職員一人一人が、法的、倫理的に意識を高め、今一度、ルールの徹底を図る。

〔学校関係者評価〕

コンプライアンスは、個人だけ守っても意味がない。職員・講師全員が意識を合わせて学校で一丸となって取り組まないといけない。  
教育に携わる機関として、法律は勿論、道徳やモラルにも優れた学校であってほしい。

## 点検項目別評価表

### 3. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は 明確にされているか	④ 3 2 1
3. カリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
6. 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
13. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
14. 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

#### 〔現状と課題〕

学校評価や教育課程編成などの委員会の意見を参考にニーズに合った教育課程表の作成を行っている。  
研修や教員の育成は、個別には行っているが全体的には、まだ不十分。今後更に取り組みを強化する必要がある。

#### 〔改善のための方策〕

個別対応に加え、全体的にも計画性を持って研修会や企業からの実践的なアドバイスを得て、スキルアップの場を増やし資質向上を目指す。

#### 〔学校関係者評価〕

診療報酬など定期的に改訂されるため、講師には最新の情報を更新してもらうためにも研修は必要不可欠である。

点検項目別評価表

4. 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
2. 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
3. 退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
4. 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

就職率は、社会のニーズの向上と当校の認知度も多少上がり、好調。資格取得も順調。課題としては、入学後すぐに進路変更で退学するケースが増えたこと。内定先での研修中に、内定者が早期にミスマッチと判断してしまい内定を辞退するケースがあること。また、学生数に比べ求人数が過剰であるため、卒業生などの紹介を求められるが、なかなかマッチしないのが現状。

〔改善のための方策〕

学校説明会などで入学前に理解を深めておく。入学してからの学校生活、授業展開、目標を再認識させて学生満足度を向上させ退学予防をする。卒業生向けの求人票提供をホームページ上などで可能するなどの検討をする。

〔学校関係者評価〕

就職先に個人診療所が多いが、調剤薬局などにも需要があり、学生に目を向けさせてほしい。資格取得は、高合格率をそのまま維持してもらいたい。  
退学問題は、大変だと思うが、早期の状況把握と対応しかない。卒業生対象の求人情報の公開も進めてほしい。

点検項目別評価表

5. 学生生活支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
2. 学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか	④ 3 2 1
3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 ② 1
6. 学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
7. 保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
8. 卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
10. 高校・高等専修学校等の連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 3 ② 1

〔現状と課題〕

学生への経済支援は、国の政策、また当校独自の学費サポート体制を構築している。

課外活動に対する支援は、検討中。学生の課外活動の意欲の低下もあり課題がある。また、高校連携、社会人対応も未だ不完全。

〔改善のための方策〕

卒業生との連携を強化し、現状の個別対応から組織化する体制作りをする。時間的、資金面も含め、課外活動に参加しやすい環境作りを考える。卒業生全ての把握は難しいが、同窓会等の利用も視野に体制作りを行う。高校との交流を増やし、キャリア教育・職業教育の取り組みを提案する。

〔学校関係者評価〕

課外活動では、医療機関のボランティア募集を利用することを検討。情報提供などをホームページ上で確認できるシステムを構築できないか？

## 点検項目別評価表

### 6. 教育環境

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
3. 防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

#### 〔現状と課題〕

教育環境の設備施設など遅れている面もあるが、授業の工夫や改善を図り補っている。  
海外研修に関しては、診療報酬など国内のみに適用する法制度のため、また費用面などからも難しい。

#### 〔改善のための方策〕

実践により近い職場環境で授業が行えるよう地域企業とも実習、体験学習など協力体制を強化する。  
施設の老朽化は否めないが、点検や修繕を計画的に実施することで環境維持をしていく。

#### 〔学校関係者評価〕

今後、座学だけでなく、より実践に近い形での授業が必要。医療機関での実習やインターンシップも多様性が求められる。  
防災に関しては、異常気象も増え、地震、火災も当然だが、熱中症などの対策にも気を付けてほしい。

## 点検項目別評価表

### 7. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	4 (3) 2 1
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	(4) 3 2 1
3. 入学選考は、適正かつ公正な基準に基づき行われているか	(4) 3 2 1
4. 学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

#### 〔現状と課題〕

少子化の影響も深刻化しており、近年、入学者の減少が顕著である。

学生募集も計画的、効率的には行っているが、効果的な対策がないのが現状であり課題である。

#### 〔改善のための方策〕

SNS等の利用により全てのユーザーに学校の情報を的確に、より効果的に活用する。

低学年から関連分野への啓蒙活動をして、学校説明時にも学習、資格取得に加え、就職後の活躍も視野に魅力を伝える。

#### 〔学校関係者評価〕

少子化の影響から、学生の一定数の確保は難しい局面でもあるが、医療事務員の業界ニーズは高まっているため、即戦力の人材は早急に必要。

業界で働く上での、社会貢献度、必要性、やりがいなどを高校生だけでなく、小中学生の時からキャリア教育をして職業理解を進めて行かないといけない。



## 点検項目別評価表

### 8. 財務

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
3. 財務について会計監査が適切に行われているか	④ 3 2 1
4. 財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

#### 〔現状と課題〕

学生募集の結果の影響が深刻であり、年度の途中で入学者が増えることがないので、節約と効率化が必要。今年度は、法人会計から修正、改善した。財務情報の公開は校内の掲示板及び当校ホームページにて公開。

#### 〔改善のための方策〕

年度の途中で、新規学生数が増加することはないため、退学者を出さないよう早期発見、早期対応策で臨み学生数を維持していく。

#### 〔学校関係者評価〕

一定した学生数の確保と退学の防止により、安定した経済面の地盤が不可欠であり、それを学生に還元してもらいたい。財務情報の公開は、透明性を高め、組織のモラルを向上させる効果もあるため、正確に継続していく必要がある。

## 点検項目別評価表

### 9. 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
4. 自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

#### 〔現状と課題〕

国の実態調査など年数回の調査の都度、適正か確認している。  
 学生情報等、特にプライベートな個人情報は年度ごとにデータ抹消など徹底した管理を実施している。

#### 〔改善のための方策〕

自己点検・自己評価結果はホームページにて公表している。  
 学校関係者評価委員のアドバイスを問題点の改善に活用する。

#### 〔学校関係者評価〕

個人情報や企業情報の漏えい問題は、何重にも予防策をしないと防げない。規則や規律を作って守らせるように体制化させてほしい。

## 点検項目別評価表

### 10. 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 (3) 2 1
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 (2) 1
3. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 (3) 2 1

#### 〔現状と課題〕

地域の方々と学生との接点が少ないのが現状。  
ボランティア活動も学生が個々で行ってはいるが、把握と組織化は未完全。

#### 〔改善のための方策〕

学生へ積極的な情報提供を行い、地域・社会に貢献する機会を増やす。地域に向けた公開講座の立案と実施を検討する。  
ショッピングモールなどで家族連れなどへ職業理解の啓蒙活動も実施しているので回数や地域も増やしていく。

#### 〔学校関係者評価〕

地域との繋がりを再認識してほしい。地域行事、奉仕活動、社会との接点を増やし学生の自立性を促すための手助けをするのが学校の役目。